

<タイプ1>

- ・大山康晴を掘り下げてみたい。将棋の歴史。
- ・人には様々な生き方があるんだなと感じた。
- ・いろいろな言葉が目に入ってくると凄いと思った。
- ・好きな事は一生懸命な人が多かった。
- ・私は何に対してもクオリティーを求めるが、グループの人は好きなことだけは頑張れる人が多かった。
- ・グループワークを2人でやったが話が弾んだ。原敬がすごいと思った。
- ・持続する志というのは自分を勉強することです。羽生善治の名言は、勝つのは一点差でいい。五つも十点も大差をつけて勝つ必要はない。・・・この授業は面白いです。
- ・すごいのは、最初に道を作った人間と継続している人間だということを改めて再認識した。志賀直哉が気になった。
- ・東京駅で暗殺が行われていたことに驚いた。家計簿を考えた人のスローガンを初めて知った。先人の方々のおかげで今があるので感謝しなければいけないなと思った。
- ・だんだん回数を重ねるにつれ自分の性格を理解してきた。そして偉人の中にも自分の性格と似ている人がいて、その人たちを目標に頑張っていきたい。
- ・偉人の名言が心に響いた。常に一点差でいい。にとっても心打たれた。
- ・気に入ってる点などの言い合いでは凄く分かる点やこんなところがあるのかなどを知れた。志というものはあるだけでなく持続することが大切であると感じた。
- ・米長邦雄さんの、「自分が絶対正しい」と思ってはならない。に同感だった。

<タイプ2>

- ・ほとんど合っていて驚いた。特に「Noと言えない」にすごく共感した。原敬の名言は心に強く響く言葉が多かった。何事にも屈せず、前を見ているのはカッコいいと思った。
- ・自分と違うタイプで、気の合う人と合わない人の組み合わせがあるのだなと感じた。原敬の名言で気になったのは、もし日本に欠点ありとすれば寧ろ謙譲に過ぎ遠慮に失するという言葉。
- ・YouTubeの動画を見てみようと思った。エニアグラムの資料が自分とピタリと当てはまって逆に怖くなるくらいだと感じる。
- ・「ノー」ということができない。他人のために何かやりすぎて疲れてしまうことがある。など自分にも思い当たる節が多いと感じた。
- ・人間はある程度決まった運命をたどり、その中で自分を主張しているんだなと感じた。「職務は忠実に完璧に望まれた以上のことをやる。しかし、残りの時間とお金はたくさん自由につかう」という名言があったが、こんな生き方ができたらカッコいいなと思った。もっと本を読まなきゃと毎回思われる。
- ・凡を重ねる、いつか非凡になる。という言葉に感銘を受けた。原敬が素晴らしい言葉を残しているとは思ってもしなかった。
- ・自分には厳しく他人には甘く。最近、自分のことも出来ていないのに他人のことを助けられるわけがないと気付いた。
- ・牧野富太郎には印象深く、植物分類に関する国民の意識を高めた事で有名になった。本を読んでみようと思った。
- ・池波正太郎は年賀状を毎年自筆で1000枚書いている(毎日作成)。自分も毎年自作の手帳を作っているのでも少し似ている気持ちになった。ご飯についての書き方も美味しそうに思わせる文章で、すごいと思った。今後お刺身は、わさびを上に乗せて食べようと思います。話を聞いていてお腹が空きました。
- ・大山康晴の、聞いたら鳥肌がたってしまう言葉が、多々あり、偉人の凄さを改めて痛感した。多摩大学から偉大になった人はいないのか気になった。
- ・昔、歴史の授業でやった人物がたくさん出てきて、知らなかったことも知ることができた。
- ・タイプ1の人と話したが我が強いと感じた。塚田さんの名言「悪い時にどれだけがんばれるかでその人の値打ちが決まる」辛いときも笑顔でいよう。

<タイプ3>

- ・自分で自分の性格は変わっていると思っていたが、そんなことはないようだ。大甘康晴さん「賞はご褒美ではなく、激励のしるしである」「一時の栄光を求めるより、長く続けることが大切」継続は力なりという言葉があるが、その言葉は本当なんだと思った。
- ・持続する志が大事だと思った。
- ・様々な性格タイプと照らし合わせることで、自分にはない個性のある人と話すことができるということに感動を覚えた。
- ・私は将棋が好きなので、羽生名人はかねてから尊敬しています。

<タイプ4>

- ・同じタイプでも話すと少し違うなと思った。持続しないと手に入れられないことがあると思う。
- ・今日の話は面白かった。歴代の政治の人で作った内閣も面白かった。原敬さんの記念館に行ってみた。
- ・グループで自分の個性についての話が出来て面白かった。同じタイプの人の考えも大体一緒なのは驚いた。
- ・自分に手に負えないと思っているところが当たっていた。タイプ4の人は自分を評価するとき、自分の良い点ではなく悪い点に注目した。これもタイプ4の特性の一つかな。
- ・「手に負えないところ」の方が多く当たっていた辺りが抱え込みやすい4番らしかった。升田幸三の「一人前になるには五十年はかかる。功を焦るな、悲観するな。」がとっても印象深かった。
- ・自分で手に負えないと思っているところは、他人を失望させると罪悪感を感じる。自分の持っていないものを熱望すること。

<タイプ5>

- ・グループワークでは、違う部分も多少あったので、完全には信用できないと感じた。原敬さんの日記は、死んだ後のことまで考えて書いていたのが凄と感じた。
- ・持続する志を持っていると、その道の一流になれることを知った。
- ・大山康晴さんの「人が真似出来ない芸を持つことが一流の条件である」を聞いて、自分は、まずどんな芸を持つか考えなければいけないと思った。
- ・自分の気に入っている点、手に負えない点分かり、今後の見直す点が見つけれられたので良かった。
- ・距離をおいて人生を客観的に見ることができていないので自分を見直す時間が必要だと感じた。
- ・色々な人物の生き方や名言を聞いて、自分にどう役立つのか考えていった。
- ・エニアグラムが地味に当たっていて複雑な気持ちになった。(特に、手に負えないと思っていること)その内容が今の状況とタイムリーなところがあって笑ってしまった。
- ・原敬など、偉人の話を関心を持って聞いた。
- ・十代の一年は、中年男の十年に相当する。
- ・時間を効率良く作るのが苦手なので、見直していきたい。
- ・人に興味を持つことから始めようと思った。原敬さんのことを調べてみようと思う。
- ・そろそろ尊敬する人を見つけないといけない。
- ・正反対のタイプの人たちで集まって話をしたら、どんな会話になるのかなと思った。
- ・グループの話し合いが面白かった。総理大臣を多く出している県があったりない県があったり、地域毎に育ち方や、地域の特徴、伝統などが関わっているのかなと思った。
- ・タイプ5だが他のタイプも混じっていて疑問に思った。原敬がもっと長く生きていたら変わっていたのかなと思った。大山康晴と今のコンピューターと将棋を指して欲しいと思った。電王戦見たかった。
- ・原敬が最も気になった。日記を数十年間も書き続けたことに驚いた。
- ・なぜ昔の偉人たちは、一つのことを長く続けている人間が多いのか、疑問に思った。
- ・エニアグラムは心辺りが感じられる。率先して話しが弾むことは少なく、しかし、それぞれが授業ということもあり、なるべく沈黙多くならないよう心がけた雰囲気もあり、楽しかった。
- ・「継続は力なり」と言ったように志を持続させることでやっと大業を成せるということが今日の偉人達を見て思った。

<タイプ6>

- ・偉人達は「詩」を作ることが楽しみだったりするのですか？
- ・家計簿を作った人の話が印象に残った。
- ・歴代総理の出身地率で、西日本が70%と多く、驚いた。山口県が7人と一番多く意外だ。
- ・原敬の「余の日記は、数10年後はとにかくなれども、当分世間に出すべからず、余の遺物中この日記は最も大切なものとして永く保存すべし」気に入った。
- ・継続することが力になる、実際の例を見れた気がした。
- ・大山康晴の功名心を退けて、平常心、不動心を持ち続けろ。この言葉が現代の若者に必要だと思う。原敬の毎日簡単なメモを取って、まとめた。という行動は継続は力なりという諺を表していると思った。日記をつけることは人生を豊かにすると思うので、私も日記を書こうと思った。
- ・牧野富太郎。南大沢にある首都大に本館がある。エニアグラムは、決心する時いつも失敗を怖れてグズグズしてしまう。利用されてないかを考えてしまう。
- ・今まで詩には興味が無かったが、今回の講義で興味を持てた。
- ・悪い所を改善し、人間的にもっと良い人になりたいと思った。
- ・新しい自分が見つかるような気がした。
- ・体重には気を付けて生活したいと思う。
- ・原敬さんの日記を書くことを、激務の中でやっていたと思うと凄い方だと思った。
- ・違うグループとの話し合いは楽しかった。話が合わないことが多かった。同じ人間でもここまで変わってくるのかと思った。名言の「常に自分が正しいと思うな」この言葉は良かった。
- ・就職し3年で辞めてしまう人も多いので、少し頑張ることが必要だと感じた。総理大臣が多い県は、山口県、岩手県だと初めて知った。

<タイプ7>

- ・友人は優柔不断で他人が自分のことをどう考えているのか気にしてた。池波正太郎さんは、段取り、計画をしっかり考える人なので、私とは合わないかも。
- ・大山さんの「功名心を退けて、平常心、不動心を持ち続けろ」では、常に自分らしさを持ち続けるように言っていると思った。
- ・時間を大切にしていきたいと思った。
- ・大山康晴を調べたいと思った。
- ・行動を続けることが志となると思った。
- ・自分で手に負えないと思っていることで、自分が始めたことを最後まで遂げないこと。が当てはあまり、これは改善していきたいと思った。自分にできることだけでなく、出来ないことにも手を出してみようと思った。
- ・自分で手に負えないと思っている大部分で、自分と一致した。エニアグラムのタイプが違う者とならどうなるのか気になった。偉人の言葉は全部身にしてみた。
- ・チームに分かれての作業面白かった。尊敬する人たくさんいてしぼれない。
- ・楽天的で人生の悩み事に負けて憂鬱にそのような気分にならない様に気を付けたい。

<タイプ8>

- ・男勝りな部分があると思っているので、当たっていると感じた。
- ・「私は私」という部分に共感した。いつもそこで、自己中にならないように気にしている。
- ・エニアグラムなどは、誰かに当てはまることだから、信じ込んだりしなくても良い。あくまで目安(ただの他人の考察)と受け取る。
- ・名言格言などは、ほとんどは理解できなかった。それは自分がまだ未熟ということなので、理解できる人になりたいと思った。羽生さんの大差ではなく1点差こそが、良いということについて、人としての幅が広がる言葉だった。
- ・原敬が現代でこんなに評価されているのに驚いた。
- ・そろそろ偉人を決めたい。候補が多すぎる。
- ・池波正太郎の本を読んでみたい。芸術系の偉人を紹介して欲しい。
- ・タイプ8だが、全部が全部当てはまらなかった。自分の長所と短所が理解できた。今後、面接などを行うときに役立てようと思った。
- ・言葉の持つ大きさを感じた。新たな考え方や気持ちになり、乗り越えられると思った。

- ・偉人の名言はどれも奥深く理解できないものもあったが、胸打たれた名言も多くあった。
- ・参考になる動画を見れて良かった。
- ・自分もバイトを5年間続けている。継続力は大切だ。続けた先に分かることも沢山ある。
- ・最近是人付き合いも昔より良くなり、初対面の人たちとも上手く話せるようになった。
- ・半分くらい当たっていてビックリした。
- ・一度持った高い志を長い時間維持することの大切さや、志を維持することで周りに与えるものがあることが学べて良かった。
- ・原敬さんが日記を続けられた理由を知りたいと思った。
- ・将棋の名人や名のある人たちは数多くの名言を残していると思った。
- ・周りの人と話すのは面白いので今後もやっていきたい。

<タイプ9>

- ・話し合いでは、他人と自分で似ている所が多くて面白かった。この人とは案外良き仲になれそう。
- ・勝負師の言葉がとても心に響いて自分も就職活動などでその言葉を胸に焼きつけてやっていきたいと思った。
- ・エニアグラムのタイプでこんなにも違うのかと実感した。また、それが合っている事にも驚いた。
- ・自分の見本と人を1人でも見つけたいと思った。自分の性格が回を重ねる毎に分かってきて楽しい。
- ・名前を世に残している人たちは継続することが出来るというのはとても納得がいった。
- ・羽生名人の「自分が正しいと思わない」という言葉に共感が持てた。
- ・先生が言っていた、食欲が凄くて放っておくと太るという点は、本当にその通りだと思った。自分で制御していきたいと思った。
- ・優柔不断なこと、9番がとてもあっていると思った。
- ・自分も名言や座右の銘をモットーに、これからやっていきたい。
- ・レンタル店にも置かれている、「鬼平犯科帳」の脚本・演出などを担当した池波正太郎に注目した。「真田太平記」はとても気に入っている作品である。迷わず池波正太郎を選んだ。「鬼平犯科帳」を借りて観たり、自宅に置いてある「真田太平記」を読んでみたいと思う。
- ・大きな点差じゃなくて一点差でいいという言葉が印象に残った。
- ・エニアグラムの良くない点は、意識しておけばあまり思い悩まずに済むだろうと思った。池波正太郎が気になった。調べてみたい。原敬も調べてみたい。優柔不断な性格なので、早めに見ていくべきなのだ分かった。
- ・同じタイプの子と共感することが多く話していて面白かった。大山康晴さんの名言が心に響いた。「賞はご褒美でなく、激励の印である」「一時の栄光を集めるより、長く続けることが大切」

<タイプ?>

- ・自分の本当の像というのが分かった。原敬の日記の件などは驚いた。
- ・自分も気に入った言葉などあったらしっかり調べてみたいと思った。
- ・道に迷ったならば原点に戻って再スタートすればいい。それが一番いい人生なのだから。この言葉はすごく感心しました。
- ・自分の名言を残せる立派な大人になりたい。
- ・原敬さんは素晴らしい人。もっと努力しようと思います。
- ・自分の良いところ、悪いところ。どちらも長期的に頑張ることが出来ること。だが頑張りすぎて人に意見を言えず全て自分でやってしまうことです。
- ・色々な性格がいて面白いと思った。
- ・「継続は力なり」という言葉があるとおり、続けることはすごく努力が必要だが、自分に財産になると思う。
- ・相性は大切なものであるため、相手のことを知る良い方法であると感じた。
- ・色々な作家の方の思想が分かって良かった。
- ・映像を見せてくれるのが楽しい。羽生名人が気になった。
- ・手に負えないと思っているところは、「やりたいことを全部できるだけの時間がない」というところ。時間の配分がうまくいかなくて失敗してしまう。
- ・大山康晴さんに興味を持った。空前絶後の金字塔を打ち立てていることにとっても驚いた。
- ・宮城さんや牧野さんの生きがいが素晴らしいと思った。
- ・なぜグループに分かれたのか分かりませんでした。動画はとても面白かったです。